



木下志き子議員

県立病院

# 医師不足解消を

## 医師確保に努める

**【質問】** 県立山田病院の医師確保については、行政と町民が一体となり医師不足の解消を考えるべきだと思ふ。院内には11科の診療科があるが8科は毎日診療していない。今後の取り組み方の姿勢を伺う。

**沼崎町長** 山田病院は、当町の地域総合病院として町民の救急救命及び健康管理に重要な役割を担っており、これまでも山田病院の診療体制が充実されるよう岩手県や岩手県医療局及び宮古病院に医師確保・応援診療の要請を行ってきた。本年度も9月14日の市町

村要望の中で、岩手県知事に対し直接要望書を提出している。また、宮古圏域における医療を確保するため、宮古圏域5市町村長で厚生労働省、岩手県及び岩手県医療局に対し、10月25日、26日に宮古病院循環器科の常勤医師の継続派遣要請を行ったところである。

医師不足は、病院だけの問題ではなく、救急医療のための医師確保は重要であると考えている。12月に山田病院で設置予定の「県立山田病院地域懇談会」の動向も注視しながら医師確保に努めていく。

### 施設活用

## 旧山田病院売買契約の予定は

### 早期売買を申し入れている

**【質問】** 旧山田病院跡地について2点伺う。

- ①跡地の売買契約はいつごろ成立の予定か。
- ②建物の耐震調査結果はいつごろ公表されるのか。

**沼崎町長**

### 町の考えを聞く



9月14日に山田病院の医師確保に関する要望などが県に対して行われました（長崎地区）

① 県医療局とのこれまでの協議では、「年度内に仮契約にこぎつけたい」との意向のようであるが、現在のところ医療局としての具体的な考え方が示されていない。町としては

② 9月時点での中間報告では、増築棟部分のコアの圧縮試験でコンクリート強度は2階の1本がわずかに下回っており、他はいずれも設計基準強度を上回り比較的良好品質を保っている。12月下旬に正式な判定結果が通知される見込みである。